

## 平成 29 年度 事業報告 (美術館事業)

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

### 公益目的事業 (展覧会事業)

平成 29 年度は、3 月末に六本木移転開館 10 年を迎え、1～5 の展覧会に加えプレミアムトークシリーズ・工芸ワークショップ・特別講演会のイベントを記念事業として開催した。

#### 1. 「絵巻マニア列伝」展の開催

会期 39 日間、朝日新聞社と共催。

絵巻そのものではなく、絵巻愛好家に焦点をあてた今までにない展覧会として話題になった。

日記など鑑賞記録などの資料も豊富に展示したことで展覧会の深みが増した。

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 絵巻マニア列伝」
- イ. 会期 平成 29 年 3 月 29 日 (水) ～平成 29 年 5 月 14 日 (日)
- ウ. 概要 文学と美術を融合させた「絵巻」は、日本で隆盛をみた芸術様式であり、中世以来日本人を魅了しつづけ、各時代に《絵巻マニア》とも呼ぶべき熱烈な愛好家を生み出した。本展では、後白河法皇や花園天皇、三条西実隆といった歴代の絵巻愛好家に注目し、絵巻の鑑賞記録などをたどりながら絵巻享受の実態に迫った。有力パトロンでもあった絵巻マニアたちの姿を追うことで、知られざる絵巻の制作背景も紹介した。
- エ. 展示
- |                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 重文「病草子断簡 不眠の女」              | サントリー美術館  |
| 「春日権現験記絵」第九巻 高階隆兼筆 二十巻のうち一巻 | 宮内庁三の丸尚蔵館 |
| 国宝「玄奘三蔵絵」第四・八巻 十二巻のうち二巻     | 藤田美術館     |
| 重文「酒伝童子絵巻」狩野元信筆             | サントリー美術館蔵 |

#### 2. 「玉手箱」展の開催

会期 43 日間、読売新聞社と共催。

国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》をメイン作品として特別展示を行い、蓋裏を見せる期間を設けた。

トピック展示として、修理と合わせて行った調査結果を展示するとともに、近現代名工たちが手がけた名品手箱の模造を展示した。

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展  
国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》修理後初公開 神の宝の玉手箱」
- イ. 会期 平成 29 年 5 月 31 日 (水) ～平成 29 年 7 月 17 日 (月・祝)
- ウ. 概要 美しく飾られた手箱は「玉手箱」と呼ばれ、貴人愛玩の器物としてだけではなく

神々への奉納物として特別に仕立てられて、今も神宝として伝わっている。本展では、修理後初公開となる国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》を起点に現存する手箱の名品を集め、名だたる神社に伝えられた様々な神宝類とともに展示した。金や螺鈿きらめく漆芸の結晶美を中心に、贅を尽くして作られた華やかな工芸の品々をご覧いただいた。

エ. 展示	国宝「浮線綾螺鈿蒔絵手箱」	サントリー美術館
	国宝「秋野鹿蒔絵手箱」	出雲大社
	重文「松藤蒔絵文台・硯箱」	防府天満宮
	国宝「桐蒔絵手箱」	熊野速玉大社

### 3. 「おもしろびじゅつワンダーランド」展の開催

会期 30 日間、読売新聞社と共催。

2012 年に続き今回もデジタル技術とアナログ手法を駆使して、日本美術を身近に感じてもらう仕掛けづくりを行った。

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 おもしろびじゅつワンダーランド 2017」
- イ. 会期 平成 29 年 8 月 1 日（火）～平成 29 年 8 月 31 日（木）
- ウ. 概要 サントリー美術館では 2007 年六本木開館を機に、本格的に教育普及活動をスタートさせ、エデュケーションプログラムや鑑賞支援ツールの配布、特別イベントなどを実施してきた。この 10 年間の取り組みを発展させ、「おもしろびじゅつワンダーランド」第 2 弾を開催した。声を使って抽象的なかたちを文様として出現させたり、絵巻物の詞書が読めなくても音で聞いて物語の世界に入り込むかのように鑑賞したり、江戸時代のおしゃれな装束を参考にキモノをデザインしてみたり・・・からだ全体で楽しむ体験型のしかけを通して、サントリー美術館の名品の魅力に迫った。

エ. 展示	「染付吹墨文大徳利」	サントリー美術館
	「鼠草子絵巻」	サントリー美術館
	「桐鳳凰図屏風」	サントリー美術館

### 4. 「狩野元信」展の開催

会期 45 日間、朝日新聞社と共催。

当館所蔵の「酒伝童子絵巻」が重要文化財の指定を受けた記念展。サントリー美術館学芸員念願の展覧会で、元信単体での展覧会は初。元信の作品は数が少ないため、どの所蔵先も大切にされていて借用交渉は難しかったが、そのほとんどを網羅した。ボストン美術館からも「白衣観音像」ほか 2 点を出品。年末の新聞社の展覧会総括での評価も高かった。

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 天下を治めた絵師 狩野元信」

- イ. 会期 平成 29 年 9 月 16 日（土）～平成 29 年 11 月 5 日（日）
- ウ. 概要 室町時代に活躍した狩野派の確立者である狩野元信は、中国絵画の名家たちの「筆様」を整理、発展させ、真・行・草の三種の「画体」を生み出した。さらにその「型」を弟子たちに学ばせることで集団的な作画活動を可能にし、また、父・正信が得意とした漢画に加えて、やまと絵の分野にも乗り出して、広い需要に応えた。本展では、元信の画業を中心に、狩野派が組織として大きく成長していく様子を紹介した。
- エ. 展示
- |            |       |          |
|------------|-------|----------|
| 重文「四季花鳥図」  | 狩野元信筆 | 京都・大仙院   |
| 重文「禅宗祖師図」  | 狩野元信筆 | 東京国立博物館  |
| 重文「酒伝童子絵巻」 | 狩野元信筆 | サントリー美術館 |
| 重文「細川澄元像」  | 狩野元信筆 | 永青文庫     |

## 5. 「セーヴル磁器展」展の開催

会期 60 日間、TBS・朝日新聞社と共催。

製作所誕生から現在までの 300 年を紹介。どの時代にあっても、その時代の最先端をいくアーティストと組んで作品を創るセーヴルの挑戦の精神と技術力の高さを紹介した。現代では特に日本人作家に焦点をあて、草間彌生、深澤直人、森口邦彦、佐藤オオキの作品を展示した。東京会場終了後は東洋陶磁美術館・山口県立萩美術館・静岡市美術館へ巡回する。

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 フランス宮廷の磁器セーヴル、300 年の創造」
- イ. 会期 平成 29 年 11 月 22 日（水）～平成 30 年 1 月 28 日（日）
- ウ. 概要 ルイ 15 世紀時代のフランスに誕生したセーヴル磁器製作所は、またたく間に技法・デザインともにヨーロッパ磁器の最先端をいく存在となり、ポンパドゥール夫人、マリー・アントワネット、ナポレオンなど、時の権力者に愛され続けた。現在もなおヨーロッパの世界的名窯として頂点に君臨している「セーヴル陶磁都市」の貴重な名品によって、セーヴル磁器の華やかな魅力を堪能いただいた。
- エ. 展示 「ポプリ壺 エベール」  
「パーヴェル・ペトロヴィチのティー・サービス」  
「スカーフダンスのテーブルセンターピース」アガトン・レオナルド作  
「壺」ピエール・スーラージュ作
- \*作品はすべてセーヴル陶磁都市

## 6. 「寛永の雅」展の開催

会期 48 日間、朝日新聞社と共催。

仁清、遠州、探幽の代表作を冒頭に展示し、寛永文化のシャープで潇洒な新しい「雅」の世界をお客様に感じていただいた。またパネルを用いて当時の交流関係を示し、寛永文化への興味を引き出した。現代にも通じる新しい美意識を会場全体で表した。

- ア. 名称 「寛永の雅 江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽」
- イ. 会期 平成30年2月14日(水)～平成30年4月8日(日)
- ウ. 概要 江戸幕府が成立し、新たな時代の幕開けとともに花開いた「寛永文化」。王朝文化を基盤とした新しい美意識は、現代にも通じるシャープで潇洒な新しい「雅」の世界を作り上げた。本展では寛永文化の中心となった京都の宮廷文化を始めとして、小堀遠州の「きれい寂び」、金森宗和の「仁清」、狩野探幽「江戸狩野様式」などを通して、新たな美意識がさまざまな層の人々に共有されて広まっていった様子をご覧いただいた。
- エ. 展示 「白釉円孔透鉢」 野々村仁清 MIHO MUSEUM  
「源氏物語絵巻」 住吉具慶筆 MIHO MUSEUM  
「桐鳳凰図屏風」 狩野探幽筆 サントリー美術館  
「瀬戸肩衝茶入 銘 飛鳥川」 湯木美術館

#### 7. 「プレミアムトークシリーズ」の開催

- ア. 概要 様々な業界の第一線で活躍されている著名人をゲストに迎え、サントリー美術館の所蔵品をテーマに当館学芸員との対談を実施した。
- イ. 日程・出演者
- a. 【絵画】4月2日(日)  
館鼻則孝氏〔アーティスト〕×池田芙美学芸員
- b. 【陶磁】4月20日(木)  
中島誠之助氏〔古美術鑑定家・エッセイスト〕×安河内幸絵学芸員
- c. 【陶磁】5月13日(土)  
井浦 新氏〔俳優・クリエイター〕×柴橋大典学芸員
- d. 【ガラス】9月25日(月)  
坂崎幸之助氏〔ミュージシャン〕×土田ルリ子学芸員
- e. 【絵画】10月8日(日)  
山口 晃氏〔画家〕×上野友愛学芸員
- f. 【漆工】12月3日(日)  
柴本 幸氏〔女優〕×佐々木康之学芸員

#### 8. 工芸ワークショップ「おもしろびじゅつ教室」の開催

- ア. 概要 公益財団法人日本工芸会の協力のもと、一流の伝統工芸作家を招き、その技法を楽しみながら体験するワークショップをシリーズで開催した。親子と一般の部を分けて開催。また秋には英語による「漆芸」ワークショップを行った。

#### イ. 日程・講師

【漆芸】8月5日（土）

講師：室瀬和美氏〔漆芸作家・重要無形文化財保持者（蒔絵）【人間国宝】〕

【陶芸】8月19日（土）20日（日）

講師：前田正博氏〔陶芸作家〕

【鍛金】8月26日（土）

講師：大角幸枝氏（金工作家・重要無形文化財保持者（鍛金）【人間国宝】）

【英語・漆芸】10月29日（日）

講師：室瀬和美氏〔漆芸作家・重要無形文化財保持者（蒔絵）【人間国宝】〕

#### 9. 特別講演会の開催

ア. 名称	特別講演会「隈研吾、サントリー美術館を語る」
イ. 日程	6月3日（土）
ウ. 概要	世界が注目する建築家・隈研吾氏にサントリー美術館の設計にまつわる様々なエピソードと建築家としての思いを語っていただいた。
エ. 場所	サントリー美術館6Fホール

#### 収益目的事業

##### 1. 物販事業

所蔵品をモチーフとした商品開発、展覧会内容・季節の催事を取り入れた店頭ディスプレイにより、お客様に繰り返し足を運んでいただける魅力的なミュージアムショップを目指した。

##### 2. 飲食事業

「加賀麩 不室屋」の老舗ならではの信頼感とブランド力を活かしつつ、現代の感性を取り入れたメニューを提供し、新規顧客の拡大とリピーターの増加を目指した。

##### 3. 貸室事業

「茶室」の貸出を通じて、収益を得るだけでなく、日本の伝統文化の啓蒙という当館ならではの価値訴求を心掛けた。

以 上